



LUCIA 60/2, 120/2, and 240/2

Compact 2 x 30/2 x 60/2 x 120 W Amplifier for Installation Applications

LUCIA 60/2M, 120/2M, and 240/2M

Compact 2 x 30/2 x 60/2 x 120 W Matrix Amplifier for Installation Applications

LUCIA 60/1-70, 120/1-70, and 240/1-70

Compact Mono 60/120/240 W Amplifier for High Impedance 70 V Installation Applications

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際の搬送の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

警告



火災や感電の危険を減らすために、この装置を雨や湿気にさらさないでください。



このシステム/装置を滴りや水しぶきにさらさないでください。また、花瓶などの液体で満たされた物体が装置の上に置かれなないようにしてください。



この装置は、保護接地接続を使用して主コンセントに接続する必要があります。

Dansk: Apparatets stikprop skal tilsluttes en stikkontakt med jord, som giver forbindelse til stikproppens jord.

Suomi: Laite on liitettävä suojakoskettimilla varustettuun pistorasiaan.**Norsk:** Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt.**Svenska:** Apparaten skall anslutas till jordat uttag.



メインプラグは切断装置として使用され、容易に操作できる状態を維持する必要があります。



感電を防ぐため、上部カバーまたは下部カバーを取り外さないでください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。資格のあるサービス担当者にサービスを依頼してください。



この機器を AC 電源から完全に切断するには、電源コードプラグを AC レセプタクルから外します。電源コードの電源プラグは、容易に操作できる状態を維持する必要があります。



このデバイスを限られたスペースに設置しないでください。



お住まいの地域の電圧を確認し、正しいタイプのメインコネクタを使用してください。

次の表を参照してください。

電圧	ラインプラグ (標準による)
110-125 V (米国)	UL817 およびCSAC22.2 no42。
220~230 V (ヨーロッパ)	CEE 7 ページ VII、SR セクション 107-2-D1 / IEC83 ページ C4。
240 V (英国)	1984 年の BS1363。13 ヒューズ付きプラグとスイッチ、および切り替えられていないソケットコンセント。

前書き

このクイックスタートガイド (QSG) に含まれる情報は、LUCIA アンプの適切なインストール、および多くの基本的なアプリケーションでの設定の構成に十分です。複雑な設置のメンテナンス、冷却要件、保証、および構成の詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。

この QSG は、LUCIA で提供される DSP 機能の概要と、多くの一般的なアプリケーションに適したデフォルトの DSP プリセットでの使用の簡単な説明も提供します。また、DSP 機能のカスタム構成に必要な Windows ベースの PC エディターソフトウェアをダウンロードする手順も含まれています。ソフトウェアベースの DSP 構成に精通している上級ユーザーは、PC エディターが非常に直感的であり、それ以上の情報を必要としない場合があります。他のすべてのユーザーは、完全な操作マニュアルに記載されている詳細情報を参照してください。

完全な操作マニュアルは、www.labgruppen.com/support から PDF 形式でダウンロードできます。

開梱と目視チェック

すべての Lab.gruppen アンプは、工場を出る前に注意深くテストおよび検査されており、完全な状態で到着するはずですが、損傷が見つかった場合は、すぐに運送業者に通知してください。運送業者の検査および将来の輸送のために、梱包材を保管してください。

インストール

壁取り付け – ブラケット (ドリルガイドに「B」と記されている) を壁に取り付ける場合は、適切な手段を使用して、各ネジに最低 3kg の指定荷重で取り付けてください。4 本のネジがすべて壁に正しく固定されていることを確認します。

乾式壁への取り付けには、木ネジ (直径 3.5 mm、最小長 25 mm) と 4.5 mm 乾式壁プラグを使用し、指定された最大荷重が 3 kg を超えません (例: Molly E22412)。この取り付け方法は、UL / CA60065 に従って北米で評価されています。

乾式壁以外の面に取り付ける場合は、取り付け方法が壁の材質に適していることを確認してください。また、ブラケットが適切な手段で壁に固定されていることを確認して、上記と同様の荷重条件を確保します。

壁掛けブラケット「B」をアンプに取り付けるには、付属の 3 mm Torx 小ネジを使用してください。

ラックシェルフの取り付け – アンプは、ドリルガイドの「A」とマークされた下部の 3 つの穴を使用して、ラックシェルフなどに取り付けることができます。

直径 4mm の小ネジ (付属していません) を使用して、ネジの長さが棚の厚さに適していることを確認します。使用するネジは、取り付け後 10~20mm を超えてアンプに侵入しないようにしてください。

Lab.gruppen ラックシェルフキット – 2 つの LUCIA アンプを保持するように設計された特別な専用ラックマウントシェルフは、Lab.gruppen から入手できます。必要なすべてのアクセサリ、ネジ、および取り付け手順が含まれています。

冷却

アンプの少なくとも 2 つの換気面 (上部、下部、前面、背面) に十分な空きスペースがあり、空気が自由に流れるようにします。空調スペースに多数のアンプを設置する場合は、完全な取扱説明書の熱放散チャートを参照してください。

LUCIA アンプはインテリジェントなファン制御を備えています。低電力アプリケーションで換気が良好な場合、ファンはオフのままになります。中程度の電力レベルでは、ファンは「ささやきモード」でアクティブになる場合があります。大きなプログラムによってノイズがマスクされる場合、ファンは高い出力レベルでのみフルスピードで動作します。

動作電圧

LUCIA アンプには、50 または 60 Hz で 100~240 V の AC 電源で動作するユニバーサル電源があります。背面パネルの電源レセプタクルは、販売国に適したコネクタで終端する付属の IEC コードを受け入れます。

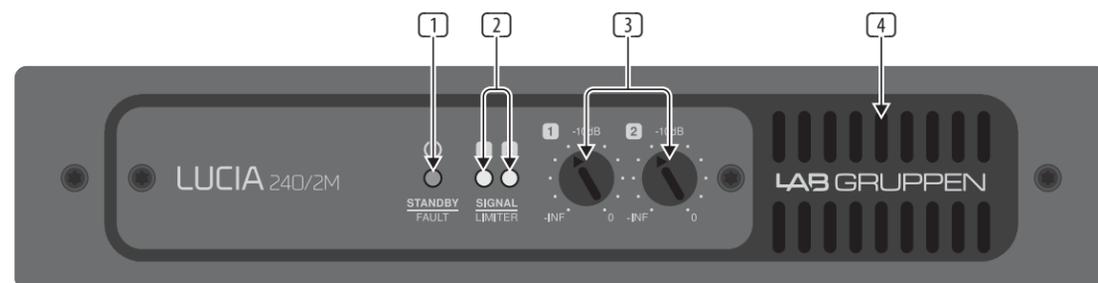
グラウンディング

信号接地は抵抗を介してシャーシにフローティングであるため、接地 (接地) は自動的に行われます。安全上の理由から、AC 電源コードのアース (アース) ピンは絶対に外さないでください。より長い入力ケーブル (約 1m/39" 以上) を使用する場合は、ハムや干渉を避けるために平衡入力接続を使用してください。

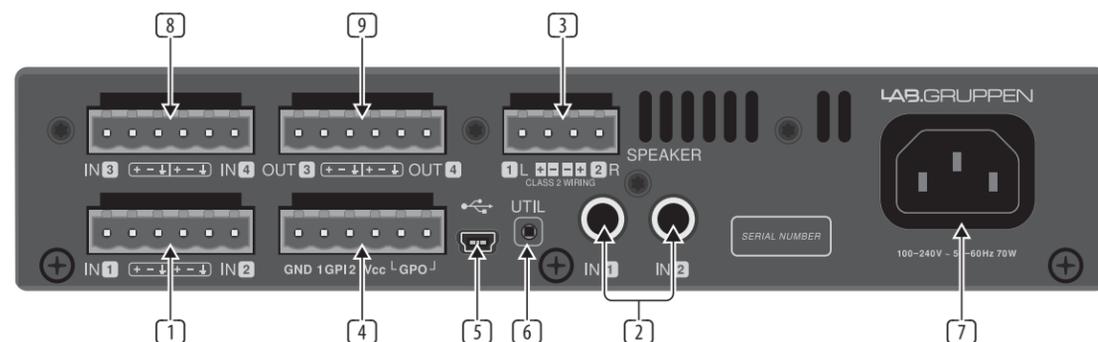
LUCIA Series コントロール

ステップ 1: コントロール

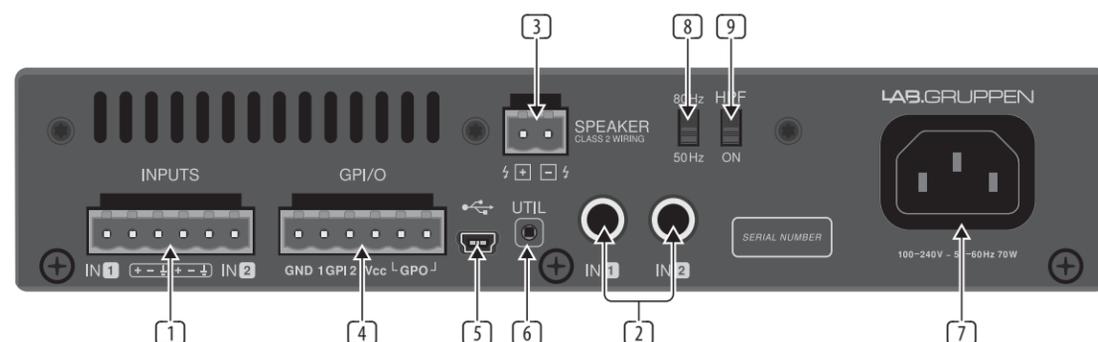
フロントパネル (すべての LUCIA モデル)



リアパネル (LUCIA 60 / 2, 120 / 2, 240 / 2, 60 / 2M, 120 / 2M, 240 / 2M)



リアパネル (LUCIA 60 / 1-70, 120 / 1-70および240 / 1-70)



フロントパネル (すべての LUCIA モデル)
フロントパネルには、次のアンプステータスインジケータが表示されます。

① **スタンバイ / オン LED インジケータ**
— アンプがスタンバイ電源モードの場合は 3 色の LED がオレンジ色に点灯し、アンプがオンの場合は緑色に点灯します。アンプが保護モードに入ると、LED が赤く点滅し、スピーカー出力がミュートされます。保護モードの詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。

② **シグナルの存在 / 制限 / クリップインジケータ** — 3 色の LED が点灯して、次のようにチャンネルステータス情報を提供します。

緑 — シグナルが入力に存在し、チャンネルは正常に動作しています。

アンバー — チャンネルで制限がアクティブになっています。次の場合に制限が適用されます。

- チャンネルは、自動電圧ピークリミッター (VPL) 設定によって決定された電圧制限に達します
- 最大電流出力に達しました
- 主電源電圧はレール電圧を維持できません

赤 — チャンネルは入力または DSP のいずれかでクリッピングしています。

③ **信号減衰器** — 信号減衰器は入力チャンネル 1 および 2 に提供されます。減衰器はマイナス無限大から 0 dB の範囲で調整可能です。

注意: LUCIA 定電圧モノモデル (60 / 1-70, 120 / 1-70, 240 / 1-70) では、減衰器は、単一の出力チャンネルに送られる各入力からのレベルを設定することにより、入力選択およびミキシング機能を提供します。

④ **気流入力** — この入力ブロックまたはカバーされていないことを確認してください。

リアパネル: 2 つの出力低インピーダンスモデル

(LUCIA 60/2, 120/2, 240/2, 60/2M, 120/2M, 240/2M)

① **バランスオーディオ入力 (1 & 2)** — 3 極 Euroblock コネクタを使用して平衡入力を接続します。正しい極性 (+, -) とアース端子は背面パネルに表示されます。

② **不平衡オーディオ入力 (1 & 2)** — 不平衡入力 (ローカルビデオ画面出力、CD プレーヤーなど) を RCA (フォノ) 入力に接続します。

注意: 平衡入力と不平衡入力は並列です。一度に接続する入力のペアは 1 つだけです。

③ **スピーカー出力** — 公称インピーダンスが 2, 4, 8, または 16 オームのスピーカーを接続します。コネクタの最大定格電流は 41 アーム (アンプの容量を超えています) です。最大 4mm² (12 AWG) のケーブルに対応できます。低周波キャンセル損失を回避するために極性を観察してください。

注意: ブリッジモード接続はサポートされていません。

④ **GPIO / リモートコネクタ** — 6 極

Euroblock コネクタを使用して、外部制御およびステータス監視デバイスを接続します。次の「セットアップと操作」セクションの「GPIO 構成」を参照してください。

⑤ **USB ポート** — DSP プリセットをダウンロードするために外部コンピューターに接続します。完全な操作マニュアルの「DSP / マトリックス構成」を参照してください。接続には、ミニ B タイプのコネクタ (付属) 付きのケーブルが必要です。

⑥ **UTIL (ユーティリティ) スイッチ** — 埋め込みスイッチは、ファームウェア更新のためにユニットを更新モードにするには、USB コネクタを挿入しているときにスイッチを押したままにする必要があります。詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。

⑦ **AC ライン入力** — 付属の IEC 電源ケーブルを接続します。

以下の機能は、LUCIA 60 / 2M, 120 / 2M, および 240 / 2M の背面パネルにのみ配置されています。

⑧ **バランスオーディオ入力 (3 & 4)** — 3 極 Euroblock コネクタを使用して平衡入力を接続します。正しい極性 (+, -) とアース端子は背面パネルに表示されます。

⑨ **マトリックスライン出力** — 3 極ユーロブロックコネクタを使用して平衡ライン出力ケーブルを接続します。正しい極性 (+, -) とアース端子が背面パネルに表示されます。

リアパネル: モノハイインピーダンスモデル (LUCIA 60 / 1-70, 120 / 1-70 および 240 / 1-70)

① **バランスオーディオ入力 (1 & 2)** — 3 極 Euroblock コネクタを使用して平衡入力を接続します。正しい極性 (+, -) とアース端子は背面パネルに表示されます。

② **不平衡オーディオ入力 (1 & 2)** — 不平衡入力 (ローカルビデオ画面出力、CD プレーヤーなど) を RCA (フォノ) 入力に接続します。注: 平衡入力と不平衡入力は並列です。一度に接続する入力のペアは 1 つだけです。

③ **スピーカー出力** — 70 V または 100 V 分散システムのスピーカーに接続します。変圧器に 100 V のマーキングがある場合、70 V の場合と同じ合計電力が供給されることに注意してください。ただし、制限は 100 V に対して -3 dB で行われるため、スピーカーごとに供給される電力は、上のマーキングの半分になります。スピーカートランス。したがって、タップは必要な電力の 2 倍に設定する必要があります。

④ **GPIO / リモートコネクタ** — 6 極 Euroblock コネクタを使用して、外部制御およびステータス監視デバイスを接続します。次の「セットアップと操作」セクションの「GPIO 構成」を参照してください。

⑤ **USB ポート** — DSP プリセットをダウンロードするために外部コンピューターに接続します。完全な操作マニュアルの「DSP / マトリックス構成」を参照してください。接続には、ミニ B タイプのコネクタ (付属) 付きのケーブルが必要です。

⑥ **UTIL (ユーティリティ) スイッチ** — 埋め込みスイッチは、ファームウェア更新のためにユニットを更新モードにします。更新モードをアクティブにするには、USB コネクタを挿入しているときにスイッチを押したままにする必要があります。詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。

⑦ **AC ライン入力** — 付属の IEC 電源ケーブルを接続します。

⑧ **ハイパス周波数** — ハイパスカットオフ周波数には 80Hz または 50Hz を選択します。このフィルターは、アプリケーションブラウザソフトウェアで構成されるものと直列になっています。

⑨ **HPF スイッチ** — ハイパスフィルターのオンまたはバイパスを選択します。

LUCIA Series はじめに

ステップ 2: はじめに

自動スタンバイ / 電源投入

LUCIA アンプには電源スイッチがありません。AC 電源がユニットに接続されると、アンプは自動的にオンになります。20 分間どの入力にも信号がない場合、スタンバイモードになります。スタンバイ状態では、プリセットしきい値 (デフォルトでは -54dBu) を超える信号がいずれかのチャンネル入力に存在する場合、アンプは2秒でパワーアップします。

GPIO 構成: 2 つの出力低インピーダンスモデル

デフォルトの機能は、汎用入力および出力 (GPIO) について以下に説明するとおりです。

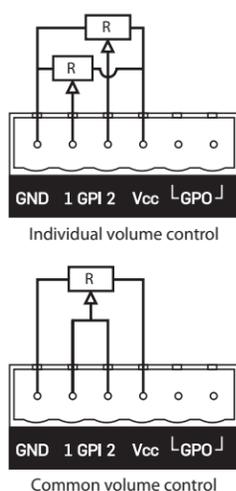
リモートボリュームコントロール - GPI のデフォルト機能は、出力ボリュームの独立した制御です。このコントロールは、フロントパネルからのコントロールと直列になっていることに注意してください。これを行うには 2 つの方法があります。

制御用に 0~3.3V を出力する制御デバイスから GPIO を接続します。それらのグラウンドも接続する必要があります。詳細な手順については、完全な操作マニュアルを参照してください。

以下に示すように、チャンネルごとのリモートボリュームコントロールポテンショメータを GPIO コネクタのピン 1~4 に接続します。(Vcc 電圧出力は 3.3V です)。

アンプの状態 - ピン 5 と 6 は内部リレーに接続して、アンプの障害表示を提供します。アンプがオンで正常に動作しているとき、リレーは閉じています。出力チャンネルまたは電源のいずれかの障害が一方または両方のチャンネルの通常の動作を中断すると、リレーが開きます。

オプションの GPIO モード - Matrix モデルでは、アンプファームウェアに変更を適用することで他の GPIO 機能を有効にすることができます。詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。



GPIO 構成: モノラルハイインピーダンス

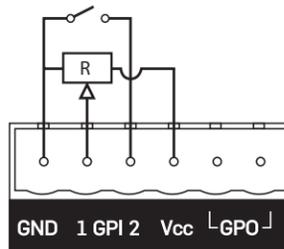
デフォルトの機能は、汎用入力および出力 (GPIO) について以下に説明するとおりです。

リモートボリュームコントロール - 次の図に示すように、リモートボリュームコントロールポテンショメータをグラウンド、GPI1、および Vcc に接続します。ボリュームコントロールは入力ミキシング後です。(Vcc 電圧出力は 3.3V です)。

アンプのウェイクアップ - 次の図に示すように、外部接点クロージャをアースと GPI2 に接続します。ウェイクアップは、接点が開いてから 0.5 秒以内に発生します。

アンプの状態 - ピン 5 と 6 は内部リレーに接続して、アンプの障害表示を提供します。アンプがオンで正常に動作しているとき、リレーは閉じています。出力チャンネルまたは電源のいずれかの障害が一方または両方のチャンネルの通常の動作を中断すると、リレーが開きます。

オプションの GPIO モード - Matrix モデルでは、アンプファームウェアに変更を適用することで他の GPIO 機能を有効にすることができます。詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。



DSP / マトリックス構成

LUCIA モデルには、ミックスマトリックスと DSP 機能の包括的なスイートが含まれています。このタイプのアンプのほぼすべてのアプリケーションで、含まれている機能により、外部ミキサーや処理ユニットが不要になります。また、デフォルトの DSP およびマトリックス構成により、多くの一般的なアプリケーションに追加の構成を必要とせず、「すぐに使用できる」インストールが可能になります。

デフォルトのプリセット - M モデルのデフォルトのマトリックスおよび DSP 構成は次のとおりです。

スピーカー-1 = In 1; GPI 1 (およびフロントノブ) で減衰したボリューム

スピーカー-2 = In 2; GPI 2 (およびフロントノブ) で減衰したボリューム

Out 3 = In 1 (-6 dB) + In 2 (-6 dB); GPI 1 で減衰したボリューム

Out 4 = In 1 (-6 dB) + In 2 (-6 dB); ボリュームは GPI の影響を受けません

ソフトウェアのダウンロードとインストール - 使用するプリセット (さまざまなスピーカー用に最適化) と使用するダイナミクス処理を選択できる、非常に直感的な構成ソフトウェアを利用できます。このアプリケーションは、www.labgruppen.com/support から無料でダウンロードできます。

USB 接続 - ファームウェアの更新および LUCIA へのプリセットのダウンロード用に USB 接続が提供されます。詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。

カスタム構成 - LUCIA 構成アプリケーションを使用した DSP 機能のカスタム構成の詳細については、完全な操作マニュアルを参照してください。

サードパーティによる管理 - LUCIA モデルには RS-232 シリアルインターフェースが組み込まれているため、サードパーティ製品で LUCIA を制御および監視できます。RS-232 シリアルインターフェースの使用法の詳細については、「LUCIA シリアルドングル-RS-232 クイックスタートガイド」を参照してください。http://labgruppen.com/support/download-quick-start-guide

技術仕様

	LUCIA 240/2	LUCIA 120/2	LUCIA 60/2
最大出力電力			
パワーチャンネルの数	2	2	2
総出力	240 W	120 W	60 W
チャンネルあたりの最大出力電圧 (1)	43.8 Vpeak	31 Vpeak	21.9 Vpeak
チャンネルあたりの最大出力電流	7.8 武器	5.5 武器	3.9 武器
チャンネルごとの出力			
2 Ω	120 W	60 W	30 W
4 Ω	120 W	60 W	30 W
8 Ω	120 W	60 W	30 W
16 Ω	60 W	30 W	15 W
パフォーマンス			
THD 20 Hz-20 kHz @ 1 W から 8 Ω	<0.3%	<0.3%	<0.3%
THD 1kHz およびクリッピングより 1 dB 低い	<0.2%	<0.2%	<0.2%
8 Ω への信号対雑音比	> 101 dBA	> 98 dBA	> 95 dBA
チャンネル分離 (クロストーク) @ 1 kHz	> 60 dBA	> 60 dBA	> 60 dBA
周波数応答	5 Hz~22 kHz	5 Hz~22 kHz	5 Hz~22 kHz
入力インピーダンス	10 kΩ	10 kΩ	10 kΩ
入力同相信号除去比 (CMR)	40 dB	40 dB	40 dB
ゲイン、感度、リミッター			
16 Ω モードの VPL	43.8 Vpeak	31 Vpeak	21.9 Vpeak
8 Ω モードの VPL	43.8 Vpeak	31 Vpeak	21.9 Vpeak
4 Ω モードの VPL	31 Vpeak	22 Vpeak	15.5 Vpeak
2 Ω モードの VPL	22 Vpeak	15 Vpeak	11 Vpeak
感度、バランス入力	4 dBu / 1.23 Vrms	4 dBu / 1.23 Vrms	4 dBu / 1.23 Vrms
感度、RCA 入力	-2 dBu / 0.62 Vrms	-2 dBu / 0.62 Vrms	-2 dBu / 0.62 Vrms
クリップの入力ヘッドルーム、バランス (2)	12 dBu / 3.09 Vrms	12 dBu / 3.09 Vrms	12 dBu / 3.09 Vrms
クリップの入力ヘッドルーム、RCA (2)	6 dBu / 1.55 Vrms	6 dBu / 1.55 Vrms	6 dBu / 1.55 Vrms
コネクタとボタン			
入力コネクタ (チャンネルごと)	電子的にバランスの取れた 3 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
入力コネクタ (ch. 1&2)	アンバランス RCA タイプ		
出力コネクタ (チャンネルごと)	2 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
GPI (電力制御入力) (3)	電圧検出タイプの 2 チャンネル、取り外し可能なネジ留め式端子の 4 ピン、ゲインのデフォルト		
GPIO (電源状態出力) (3)	接点閉鎖タイプ、取り外し可能なネジ留め式端子の 2 つのピン、障害/保護/電源オフの外部監視用のデフォルト		
RS232	両方の GPI ピンを使用して RS232 経由でサードパーティが制御および監視できます		
USB	マトリックスモデルのファームウェアアップデートおよび構成用		
レベル調整 (チャンネルごと) (3)	-∞から 0 dB まで拘留されたフロントパネルポテンショメータ		
マトリックスモデルの機能			
入力処理ブロック (4)	入力ごとに 4 つの EQ セクション		
混合マトリックスルーティングブロック (4)	GPI から制御可能な 2 イン/2 アウトミックスマトリックス		
出力処理ブロック (4)	出力ごとに 4 つの EQ セクション (多くのスピーカーで利用可能なプリセット) ユーザー調整可能な出力先読みリミッターADLC (アダプティブ ISO 226 補正)		
任意の入力から任意の出力へのレイテンシ	ユーザーは 9.15 から 137 ミリ秒まで調整可能		
力			
公称電圧	100~240 VAC		
動作電圧	85~265 VAC		
スタンバイ消費	<1 W		
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル		
冷却	1 つのファン、フィルターは不要、前後の空気の流れ、温度制御された速度は、持続電力の平均が 2x6 W 未満にとどまり、周囲の温度が 25°C 未満の場合、オフのままになります。		
自動モード	音声信号で自動制御される電源状態		
消費電力	70 W	70 W	70 W
物理的			
寸法 (H x W x D)	44 x 216 x 280 mm (1.7 x 8.5 x 11")		
重量	2.0 kg (4.4 ポンド)	2.0 kg (4.4 ポンド)	2.0 kg (4.4 ポンド)
終了	ブラックアルミニウムフロントとブラックスチールシャーシ		

注 1: 8 Ω 以上に

注 2: 注 2: クリップの歪みを減らすために、このレベルを超える入力にはアナログソフト制限が適用されます

注 3: USB 経由でさまざまな機能用に構成できます

注 4: 注 4: Application Browser ソフトウェアからダウンロードした設定によって決定される DSP 設定。ユニット自体では構成できません
すべての仕様は、予告なしに変更される場合があります。

技術仕様

	LUCIA 240/2M	LUCIA 120/2M	LUCIA 60/2M
最大出力電力			
パワードチャンネルの数	2	2	2
総出力	240 W	120 W	60 W
チャンネルあたりの最大出力電圧 (1)	43.8 Vpeak	31 Vpeak	21.9 Vpeak
チャンネルあたりの最大出力電流	7.8 武器	5.5 武器	3.9 武器
チャンネルごとの出力			
2Ω	120 W	60 W	30 W
4Ω	120 W	60 W	30 W
8Ω	120 W	60 W	30 W
16Ω	60 W	30 W	15 W
パフォーマンス			
THD 20 Hz~20 kHz @ 1W から 8 Ω	<0.3%	<0.3%	<0.3%
THD 1 kHz およびクリッピングより 1 dB 低い	<0.2%	<0.2%	<0.2%
8 Ω への信号対雑音比	> 101 dBA	> 98 dBA	> 95 dBA
チャンネル分離 (クロストーク) @ 1 kHz	> 60 dBA	> 60 dBA	> 60 dBA
周波数応答	5 Hz~22 kHz	5 Hz~22 kHz	5 Hz~22 kHz
入力インピーダンス	10kΩ	10kΩ	10kΩ
入力同相信号除去比 (CMR)	40 dB	40 dB	40 dB
ゲイン、感度、リミッター			
16 Ω モードの VPL	43.8 Vpeak	31 Vpeak	21.9 Vpeak
8 Ω モードの VPL	43.8 Vpeak	31 Vpeak	21.9 Vpeak
4 Ω モードの VPL	31 Vpeak	22 Vpeak	15.5 Vpeak
2 Ω モードの VPL	22 Vpeak	15 Vpeak	11 Vpeak
感度、バランス入力	4 dBu / 1.23 Vrms	4 dBu / 1.23 Vrms	4 dBu / 1.23 Vrms
感度、RCA 入力	-2 dBu / 0.62 Vrms	-2 dBu / 0.62 Vrms	-2 dBu / 0.62 Vrms
クリップの入力ヘッドルーム、バランス (2)	12 dBu / 3.09 Vrms	12 dBu / 3.09 Vrms	12 dBu / 3.09 Vrms
クリップの入力ヘッドルーム、RCA (2)	6 dBu / 1.55 Vrms	6 dBu / 1.55 Vrms	6 dBu / 1.55 Vrms
コネクタとボタン			
入力コネクタ (チャンネルごと)	電子的にバランスの取れた 3 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
入力コネクタ (ch. 1 & 2)	アンバランス RCA タイプ		
出力コネクタ (チャンネルごと)	2 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
ラインレベルの出力コネクタ (ch. 3 & 4)	電子的にバランスの取れた 3 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
GPI (電力制御入力) (3)	電圧検出タイプの 2 チャンネル、取り外し可能なネジ留め式端子の 4 ピン、ゲインのデフォルト		
GPO (電源状態出力) (3)	接点閉鎖タイプ、取り外し可能なネジ留め式端子の 2 つのピン、障害 / 保護 / 電源オフの外部監視用のデフォルト		
RS232	両方の GPI ピンを使用して RS232 経由でサードパーティが制御および監視できます		
USB	マトリックスモデルのファームウェアアップデートおよび構成用		
レベル調整 (チャンネルごと) (3)	-∞から 0 dB まで拘留されたフロントパネルポテンショメータ		
マトリックスモデルの機能			
入力処理ブロック (4)	入力ごとに 4 つの EQ セクション		
混合マトリックスルーティングブロック (4)	GPI から制御可能な 4 イン / 4 アウトミックスマトリックス		
出力処理ブロック (4)	出力ごとに 4 つの EQ セクション (多くのスピーカーで利用可能なプリセット) ユーザー調整可能な出力先読みリミッターADLC (アダプティブ ISO 226 補正)		
2 つのラインレベル出力 (5)	それぞれが 6 台の LUCIA ユニットの並行して駆動できます		
任意の入力から任意の出力へのレイテンシ	ユーザーは 9.15 から 137 ミリ秒まで調整可能		
力			
公称電圧	100~240 VAC		
動作電圧	85~265 VAC		
スタンバイ消費	<1 W		
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル		
冷却	1 つのファン、フィルターは不要、前後の空気の流れ、温度制御された速度は、持続電力の平均が 2x6 W 未満にとどまり、周囲の温度が 25°C 未満の場合、オフのままにすることができます。		
自動モード	音声信号で自動制御される電源状態		
消費電力	70 W	70 W	70 W
物理的			
寸法 (HxWxD)	44 x 216 x 280 mm (1.7 x 8.5 x 11")		
重量	2.0 kg (4.4 ポンド)	2.0 kg (4.4 ポンド)	2.0 kg (4.4 ポンド)
終了	ブラックアルミニウムフロントとブラックスチールシャーシ		

注 1: 8 Ω 以上に
注 2: 注 2: クリップの歪みを減らすために、このレベルを超える入力にはアナログソフト制限が適用されます
注 3: USB 経由でさまざまな機能用に構成できます

注 4: 注 4: Application Browser ソフトウェアからダウンロードした設定によって決定される DSP 設定。ユニット自体では構成できません
注 5: ノイズレベルは通常、問題なく 3 つの LUCIA アンプのデジチェーン接続を可能にします
すべての仕様は、予告なしに変更される場合があります。

	LUCIA 240/1-70	LUCIA 120/1-70	LUCIA 60/1-70
最大出力電力			
パワードチャンネルの数	1	1	1
総出力	240 W	120 W	60 W
最大出力電圧	100 Vpeak	100 Vpeak	100 Vpeak
最大出力電流	7 本の腕	3.5 腕	1.8 腕
出力モード			
70 V	240 W	120 W	60 W
100 V (1)	120 W	60 W	30 W
16 Ω	240 W	120 W	60 W
パフォーマンス			
THD 20 Hz~20 kHz @ 1 W	<0.3%	<0.3%	<0.3%
THD 1 kHz およびクリッピングより 1 dB 低い	<0.2%	<0.2%	<0.2%
16 Ω への信号対雑音比	> 100 dBA	> 100 dBA	> 100 dBA
周波数応答	5 Hz~22 kHz	5 Hz~22 kHz	5 Hz~22 kHz
入力インピーダンス	10 kΩ	10 kΩ	10 kΩ
入力同相信号除去比 (CMR)	40 dB	40 dB	40 dB
ゲイン、感度、リミッター			
VPL	100 Vpeak	100 Vpeak	100 Vpeak
感度、バランス入力	4 dBu / 1.23 Vrms	4 dBu / 1.23 Vrms	4 dBu / 1.23 Vrms
感度、RCA 入力	-2 dBu / 0.62 Vrms	-2 dBu / 0.62 Vrms	-2 dBu / 0.62 Vrms
クリップの入力ヘッドルーム、バランス (2)	12 dBu / 3.09 Vrms	12 dBu / 3.09 Vrms	12 dBu / 3.09 Vrms
クリップの入力ヘッドルーム、RCA (2)	6 dBu / 1.55 Vrms	6 dBu / 1.55 Vrms	6 dBu / 1.55 Vrms
コネクタとボタン			
入力コネクタ (チャンネルごと)	電子的にバランスの取れた 3 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
入力コネクタ (ch. 1 & 2)	アンバランス RCA タイプ		
出力コネクタ (チャンネルごと)	2 ピンの取り外し可能なネジ留め式端子		
GPI (電力制御入力) (3)	電圧検出タイプの 2 チャンネル、取り外し可能なネジ留め式端子の 4 ピン、ゲインのデフォルト		
GPO (電源状態出力) (3)	接点閉鎖タイプ、取り外し可能なネジ留め式端子の 2 つのピン、障害 / 保護 / 電源オフの外部監視用のデフォルト		
RS232	両方の GPI ピンを使用して RS232 経由でサードパーティが制御および監視できます		
USB	マトリックスモデルのファームウェアアップデートおよび構成用		
レベル調整 (チャンネルごと) (3)	-∞から 0 dB まで拘留されたフロントパネルポテンショメータ		
マトリックスモデルの機能			
入力処理ブロック (4)	入力ごとに 4 つの EQ セクション		
混合マトリックスルーティングブロック (4)	GPI から制御可能な 2 イン -1 アウトミックスマトリックス		
出力処理ブロック (4)	出力ごとに 4 つの EQ セクション (多くのスピーカーで利用可能なプリセット) ユーザー調整可能な出力先読みリミッターADLC (アダプティブ ISO 226 補正)		
任意の入力から任意の出力へのレイテンシ	ユーザーは 9.15 から 137 ミリ秒まで調整可能		
力			
公称電圧	100~240 VAC		
動作電圧	85~265 VAC		
スタンバイ消費	<1 W		
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル		
冷却	ファン 1 つ、フィルター不要、前後の気流、温度制御された速度。持続電力平均が 12W 未満にとどまり、周囲温度が 25°C 未満の場合、オフのままにすることができます		
自動モード	音声信号で自動制御される電源状態		
消費電力	70 W	70 W	70 W
物理的			
寸法 (HxWxD)	44 x 216 x 280 mm (1.7 x 8.5 x 11")		
重量	2.0 kg (4.4 ポンド)	2.0 kg (4.4 ポンド)	2.0 kg (4.4 ポンド)
終了	ブラックアルミニウムフロントとブラックスチールシャーシ		

注 1: ピーク電圧は 100V ですが、先読みリミッターソリューションにより、クリップできないことが保証されているため、音楽や音声での実際の使用では、通常、持続することができます。
注 2: 注 2: クリップの歪みを減らすために、このレベルを超える入力にはアナログソフト制限が適用されます
注 3: USB 経由でさまざまな機能用に構成できます
注 4: 注 4: Application Browser ソフトウェアからダウンロードした設定によって決定される DSP 設定。ユニット自体では構成できません
すべての仕様は、予告なしに変更される場合があります。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

